

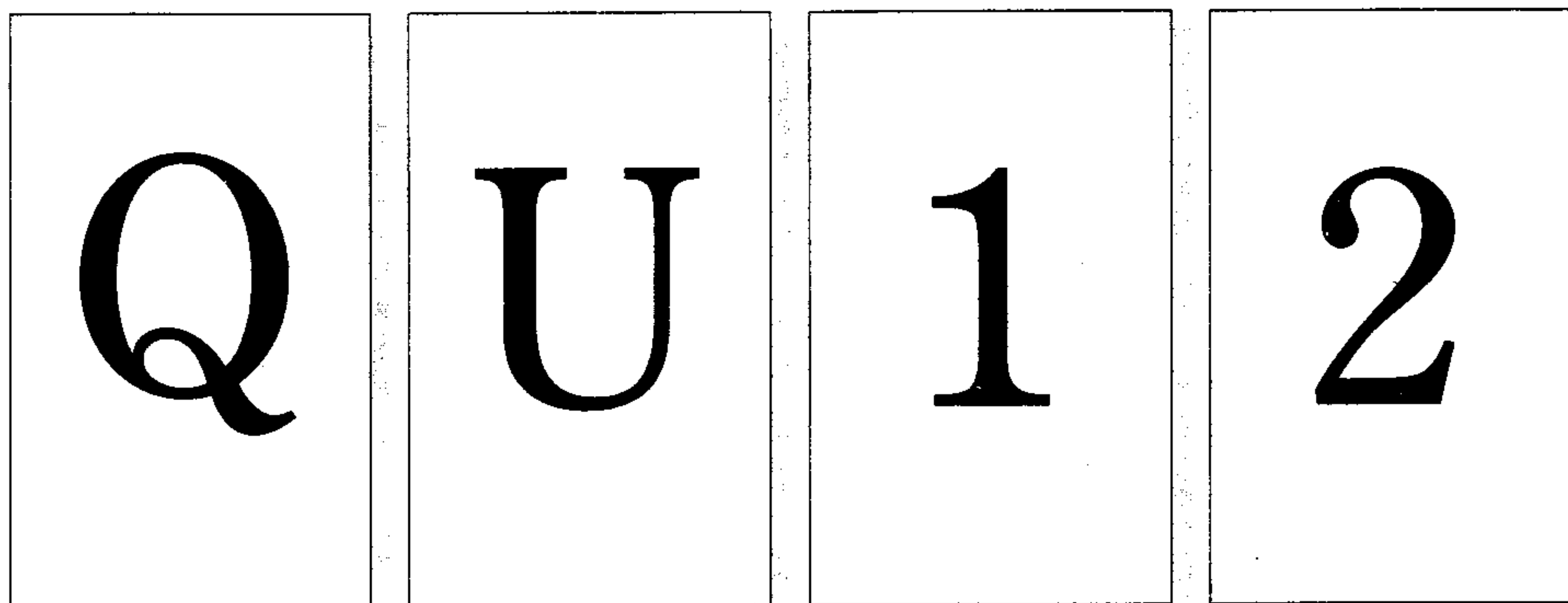
# 楽しく考える 大陸先生の読むパズル

## 問題 1

下のような、4枚のカードがあります。4枚のカードには、それぞれ片面に数字、もう片面にはアルファベットが書いてあります。

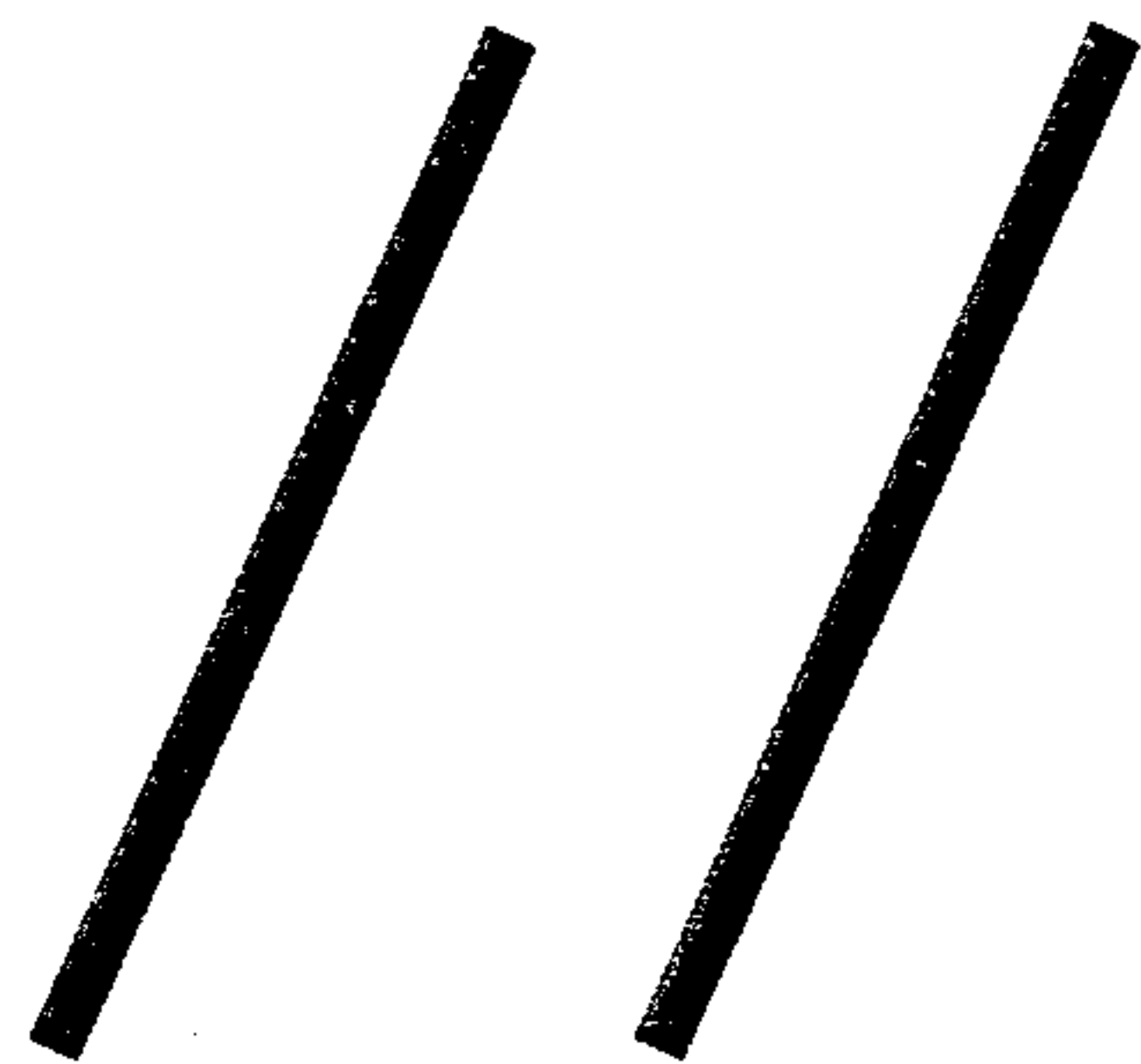
ここで問題です。

「片面に『U』が書いてあるカードの裏は、必ず『2』である」  
このことが本当であることを証明するために、最低何枚めくらなければならないでしょうか。また、それはどのカードでしょうか。



## 問題 2

燃えつきるのにちょうど1時間かかる線香が2本あります。この2本を使って、45分を測ってください。ただし、折ったり、長さを測ったりしてはいけません。また、火をつける時間は考えないものとします。



## 例題

ある家族が、船を使って川の向こう岸へわたろうとしています。船は、2人乗りの船が1艘あるだけです。家族は「父、母、息子A、息子B、娘A、娘B、メイド、犬」の8人（犬も1人に数えます）。実は、この家族はとても危険な家族なのです！ この問題には以下の条件があります。

1. 船をこげるのは、父か、母か、メイドの3人
2. 岸でも船内でも、父は、母がいないと娘を殺してしまう
3. 岸でも船内でも、母は、父がいないと息子を殺してしまう
4. 岸でも船内でも、犬は、メイドがいないと家族全員を殺してしまう

みんなが無事に川をわたりきるには、最短で何回かかるでしょうか？

※答えは24ページにあります

大陸」を開いたわけでは、  
「クイズ大陸」は、常時三〇〇〇問  
以上のクイズを載せている、参加型  
サイトです。クイズ好きの人々が、  
サイトについている掲示板を通して、  
交流してくれています。いまでは、  
一二〇万ヒットを突破しました。

一方、単行本の「読むパズル」に  
は、「クイズ大陸」に寄せられた問  
題と、私が作ったオリジナル、また  
は昔からの定番のクイズをアレンジ  
したものと、全部で八四問を掲載  
しています。  
むしろかしく考えずに、まずは、紙

とエンピツを持って、気軽にチャレ  
ンジしてみてください。たとえわか  
らなくても「頭を使って考える」こ  
とが大切なのです。何問か読むうち  
に、理論的な思考や、柔軟な発想が  
ぐんぐんと身についていきます。  
最近では、入社試験や、中高一貫  
校の入試問題で、このような論理ク  
イズがよく出題されます。  
実際、勤務先である小学校の算数  
の授業などでも、私は論理クイズを  
多く取り入れています。授業のはじ  
めに、「さあ、まずはクイズをしよ  
う」と声をかけると、子どもたちも、  
楽しそうに目を光らせます。  
「考える」というと、むしろかしい印  
象がありますが、論理クイズの基本  
は、楽しく頭を使うことです。ちょ  
っと時間があったときでも、手軽に  
固くなった頭を解きほぐすことがで  
きます。  
問題は簡単ではないかもしれませ  
んが、それだけに答えがわかった瞬  
間は、考える喜びと、小さな充実感  
が味わえるはずですよ。